

魅力とは？

憲法により「全体の奉仕者」と規定され、公の仕事をしている国家公務員。
細かい業務や内容は各府省や担当によってさまざまですが、
多様なアクターと連携しながら、政策を前に進めています。
北海道の事情を踏まえつつ政策を動かしていく、それが、私たちの仕事です。



例えば 1

地域づくりの **ディレクター**

社会課題の解決に向けて、長期的な
ビジョンや戦略等を地域住民、地方自
治体や民間企業などと共有しながら、
国民の暮らしを豊かにできるよう挑戦
しています。



例えば 2

国と地域をつなぐ **エージェンツ**

北海道内の様々なミッションについ
て、地域の声や実態を的確に把握す
るとともに、本府省に伝達し、効果
的な施策の形成に寄与しています。



Q 地方公務員と国家公務員はどう違いますか？

A どちらも、それぞれの良さがあります。大きな特徴として、地方公務員は地域に密着した仕事であること、国家公務員は国全体を対象としたスケールの大きいプロジェクトに関わることが挙げられます。「地方で働く国家公務員」は、国全体を見渡しながら、地域の実情を把握することができる存在とも言えるのではないのでしょうか。

CLOSE
UP

クローズアップ国家公務員

道内機関と本府省

道内をまとめる管区機関が主に採用を行っています。支局や事務所の有無、規模は、機関によって異なります。

本府省

- 国全体の情報を収集し、政策を立案・実行する
- 府省全体の予算や人員を計画する
- 全国的・国際的課題に挑戦する など

道内機関

- 地域のニーズを把握する
- 自治体や企業、住民との円滑な関係を構築する
- 政策立案・実行を支える
- 管内の予算や人員を計画する など

事務系と技術系

制度やルールづくり、計画策定、フィールドワーク、現場の監督、国民への説明など一体となってこれらの業務を行っています！

事務系

法律や経済など文系分野の専門的知見を基に、
多様な立場の意見を取り入れながら働く。

技術系

主に理系専門分野の知識を基に、技術的な支援や
現場監督、調査などそれぞれの分野で活躍する。

PICK UP

経 験 談

マクロな視点をもつ行政官として

北海道経済産業局は経済産業省の地方機関として、北海道経済の好循環と地域産業の発展を図るため、様々な経済施策を幅広く実施しています。私は、中小企業支援政策やエネルギー政策などに携わってきました。その後、30代半ばで道内中核都市の市役所への出向を経験し、経済産業局での知見を活かしながら、北海道庁や管内市町村と連携した観光振興、事業者支援に取り組みました。地方自治体への出向を通し、特定地域に縛られないマクロな視点をもった行政官としての仕事は国家公務員だからこそできるものだ実感しています。ぜひ多くの方に国家公務員の仕事に興味をもってもらえると嬉しいです。



北海道経済産業局
産業部産業振興課 総括係長